

ノリ養殖環境速報 KH-30-5 (播磨灘) 平成 30 年 12 月 11 日 発行

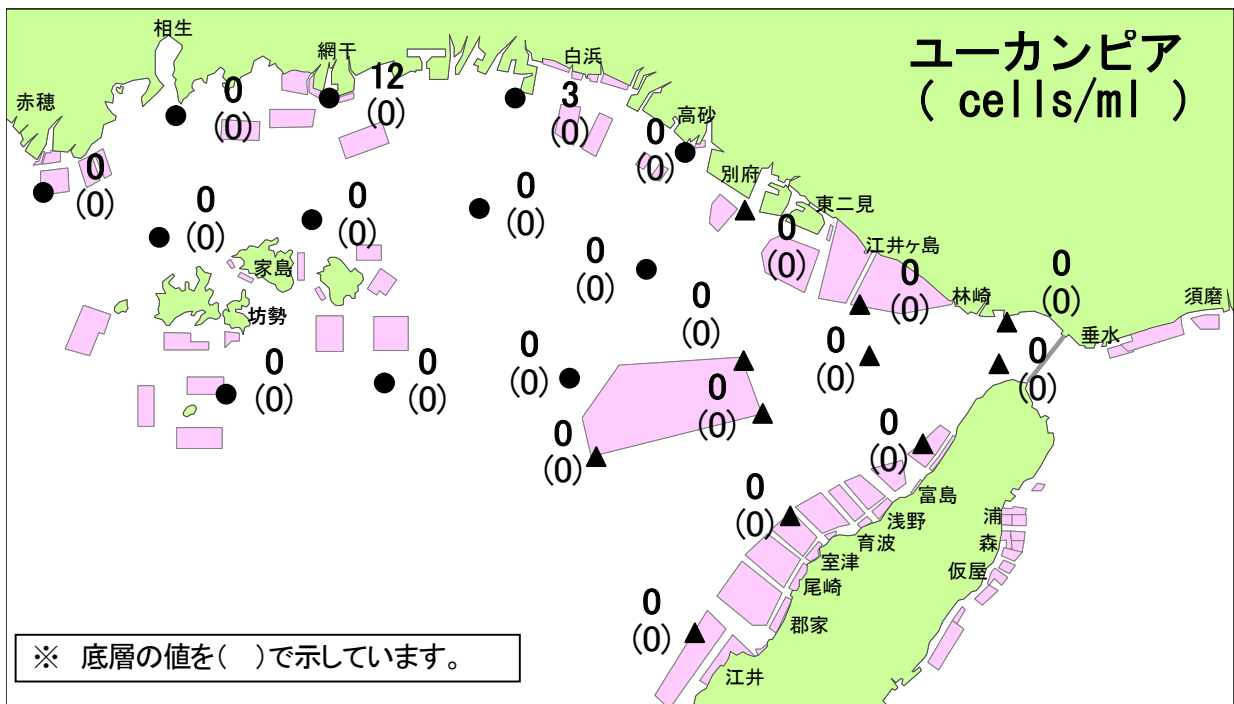
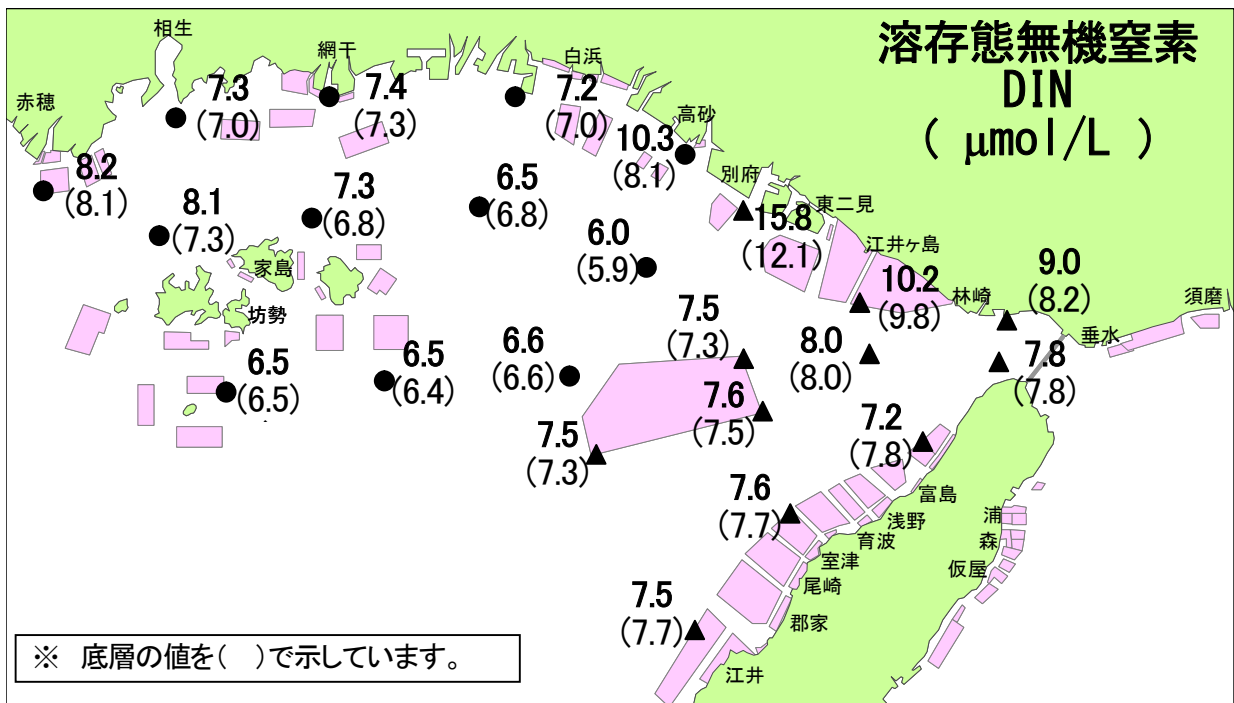
調査年月日：平成 30 年 12 月 10 日

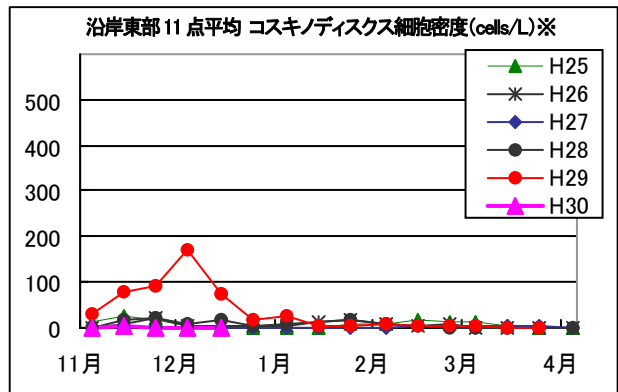
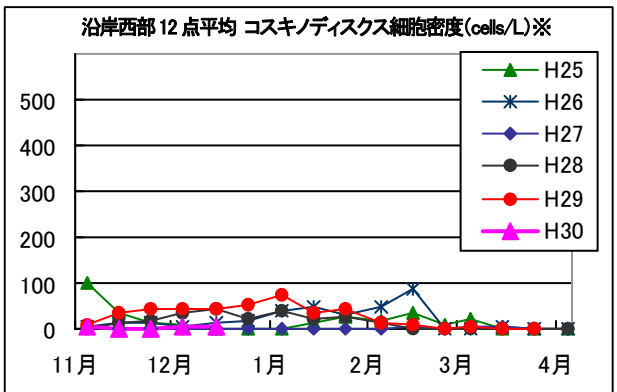
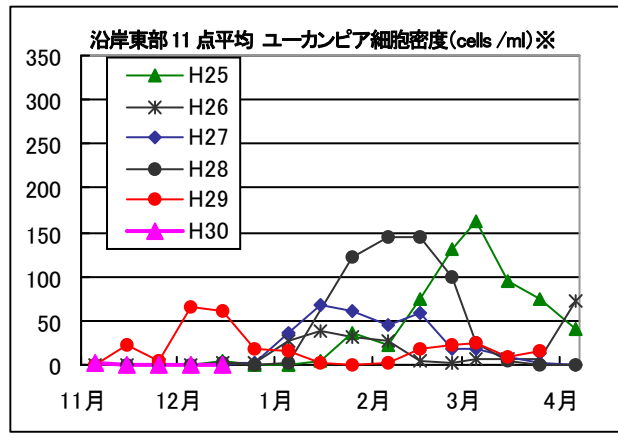
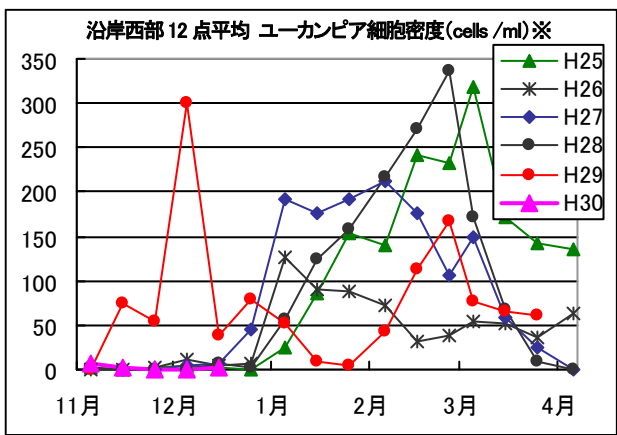
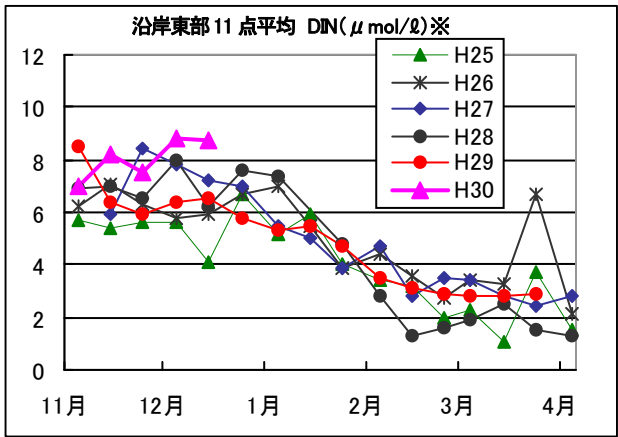
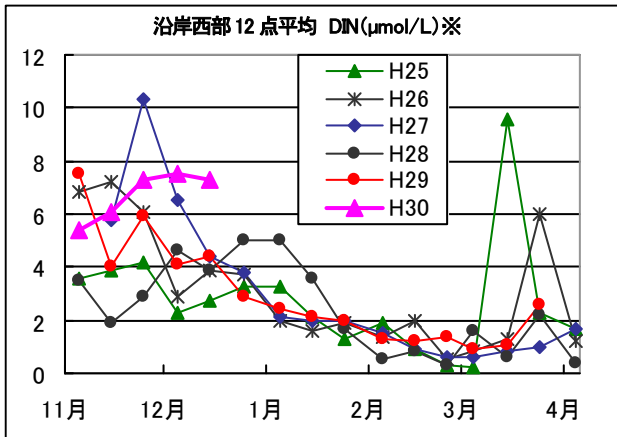
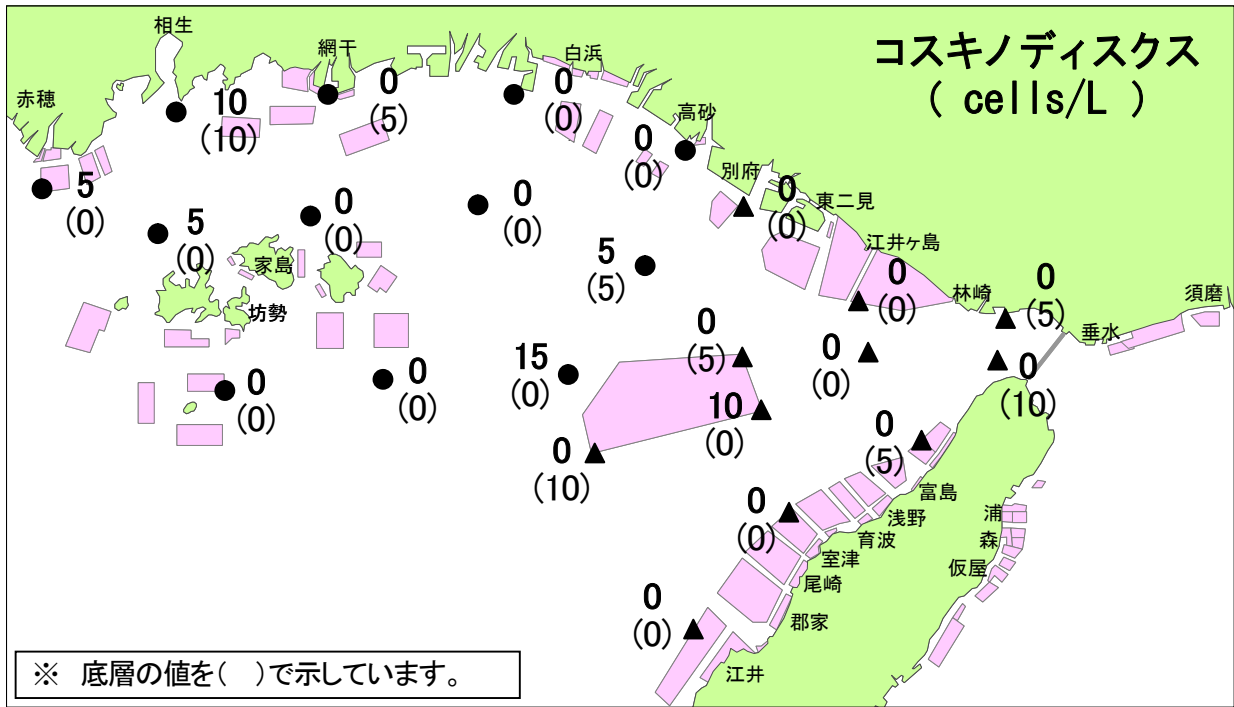
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘 (調査海域) の DIN 濃度は、6~10 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは散見される程度、ユーカンピアは一部海域の表層でごくわずかに確認される程度です。

水温は、白浜以西では14.3~16.0 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では15.7~17.1 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で15.8~16.1 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では16.5~17.1 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では16.7~16.8 $^{\circ}\text{C}$ でした。

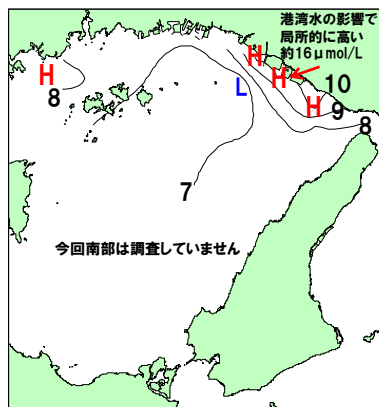




※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年12月10日の水平分布状況(表層、実測値)

溶存態無機窒素濃度(DIN, $\mu\text{mol/L}$)



ユーカンピア(cells/ml)



コスキノディスクス(cells/L)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層の DIN 濃度は概ね $6\sim 10\mu\text{mol/L}$ でした。植物プランクトンは全般的に少なめです。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは散見される程度、ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域でわずかに確認されています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか多いとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁 12月10日 16時33分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(12/11~12/17)の近畿地方は、北部では低気圧や寒気の影響で、雨や雪の降る日が多いでしょう。中部や南部では高気圧に覆われて晴れる日もありますが、期間のはじめと終わりに低気圧の影響で雨の降る日がある見込みです。

最高気温、最低気温ともに、平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(12/3)では、日生沿岸の DIN 濃度(表層)は $8.3\sim 9.6\mu\text{mol/L}$ でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクス、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
 - ・次回は平成30年12月21日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。

<http://www.hyogo-suigi.jp/>